

**階層別選択研修**  
**(主幹・副課長・課長補佐級)**

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級	受講者の声		
		<b>判断力・決断力向上</b>	判断・決断の際の観点を提示していただき、勉強になりました。グループワークを通して、自分とは異なる視点での考え方を知ることができ、非常に参考になりました。	
講師	(株) インソース 庭野 和子	期 間	1 日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県 40 人・市町村 40 人	
ねらい	様々な場面で生じる課題に対し、より早くて確かな対応策を講じられるよう判断力の強化を図るとともに、対応策を実行に踏み出すための決断力を高めます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 8月4日（木）（県20人・市町村20人） ② 11月7日（月）（県20人・市町村20人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	判断力とは	6	20	・判断力を考える ・判断における落とし穴の起こりうる背景と状況打破
	判断を行うために必要な「視点」			・課題認識の妥当性など判断の観点をおさえる ・判断力を強化するためのポイント
	適切な判断を阻害する「心理」			・判断を阻害する心理と回避策 ・事例演習から職場での活用をイメージする
	決断力を高めるには			・決断のポイント ・決断した後の対応
	まとめ 講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.158～159）</li> <li>・全2回実施</li> <li>※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。</li> </ul>			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	○J T 促進研修（主幹級） ～効果的な人材育成手法を学ぶ～			心理学などの専門的な知識のほか、講師の経験に基づいた実践的なお話で、説得力がありました。時代の変化による人材育成の変化なども学ぶことができ、今後活用していきたいと思います。
講師	(株)テラ・コーポレーション 福本 伸夫 <small>ふくもと のぶお</small>		期 間	1 日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県 2 0 人・市町村 2 0 人
ねらい	人材育成の根幹となるOJTについて、その意義や助言・支援方法、コミュニケーションなどの各種スキルを習得し、OJTを効果的かつ組織的に推進するための手法を学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	10月26日（水）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	あるべき姿：人材育成の基本的な考え方  現状把握：現在までの「育成」に関する問題の共有  実務対応：育成コミュニケーションの方法  ケーススタディ（事例演習・自己診断）  今後の行動計画	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>意図的計画的育成「OJT」の本来の姿とは</li> <li>OJT実施におけるグループリーダーの役割</li> <li>組織的育成の基本的な考え方</li> <li>育成に関する問題の相互共有</li> <li>育成コミュニケーションの基本</li> <li>相手の意欲を引き出すコミュニケーション</li> <li>積極的傾聴により相手の行動のレベルを上げる方法</li> <li>モチベーションを高める「育成後ビジョン」の共有</li> <li>進捗管理のスパンと対応法</li> <li>業務多忙時のOJT</li> <li>年上の部下との接し方</li> <li>タイプ別の対応</li> <li>自部門の育成後ビジョンと育成計画策定</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.160）</li> <li>事前課題があります。</li> <li>※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。</li> </ul>			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	組織運営のための リスクマネジメント			様々な事例やエピソードを入れての説明で、分かりやすく、リスク管理の重要性を学びました。また、講師の豊富な経験に基づき、今の時代に合ったリスクマネジメント手法を学び、今後の業務に役立てていきたいです。
講師	一般社団法人 日本経営協会 もり 森 たけし 健		期 間	1日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県40人・市町村40人
ねらい	自治体において重要性が高まるリスク管理について、地方自治法の改正により法定化された「内部統制」を踏まえつつ、組織におけるリスクマネジメントの知識や手法を身に付けます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員 （受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 8月29日（月）（県20人・市町村20人） ② 11月2日（水）（県20人・市町村20人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	内部統制時代のリスクマネジメント	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>内部統制の概要と現在の自治体の現状</li> <li>地方自治法の改正の概要と内部統制のポイントの再確認</li> <li>課題解決の方向性</li> <li>内部統制に関する留意点</li> <li>内部統制の限界を理解する</li> <li>首長／職員／議会／監査委員の役割</li> <li>内部統制を効果的に運用するために</li> </ul>
	内部統制を組織で運用するためのポイント			<ul style="list-style-type: none"> <li>リスクとは</li> <li>事例に学ぶ内部統制を踏まえたリスク管理</li> <li>求められるリスク管理体制構築の進め方</li> <li>不祥事防止に学ぶ職場内の危機管理の高め方</li> <li>コンプライアンスの本質を理解する</li> <li>組織の体制強化事例</li> <li>不正のトライアングル理論</li> <li>ケーススタディで学ぶ危機管理の実践</li> <li>管理監督職が気をつけたい前兆現象の具体例</li> <li>職場管理に「内部統制」の視点をプラスする</li> <li>不祥事発生時の初動対応</li> </ul>
	内部統制（リスクマネジメント）を実践するために 組織のリスク顕在化をいかに防止するか 事例に学ぶリスクセンスの磨き方			
	まとめ			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.161～162）</li> <li>全2回実施</li> </ul>			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	<b>事業スクラップ研修 ～ビルドのためのスクラップ～</b>			元副市長である講師の経験に基づいたお話は説得力がありました。事業スクラップの重要性や手法、アイデアを生かした新規事業の取り組みなどを学び、大変参考になりました。
講師	一般社団法人 日本経営協会 樋口 満雄 <small>ひぐち みちお</small>		期 間	1 日間
			会 場	各所属・各団体で指定する場所
			予 定 人 員	県 2 5 人・市町村 2 5 人
ねらい	既存の事業を縮減する視点や新規事業立ち上げの際の注意点を学び、改革の姿勢をもって「選択と集中」を実行する力を養います。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員 (受講を希望する課長級職員を含む) 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	11月14日(月)			
手法	オンライン研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	事業スクラップ等の必要性	6	20	・スクラップを実行しなければならない理由
	人口問題と財政問題			・人口構造とその課題 ・財政問題とその他の課題も噴出 ・原点に戻る発想が必要
	事業のスクラップ等の適正な視点・配慮すべきポイント			・必要な視点、意思決定のための判断基準 ・配慮すべきポイント
	行政改革の現在までの取組			・行政改革と地方分権改革 ・究極の行政改革とは ・行政改革の限界 ・平成の大合併と地方行政の構造
	事例紹介…講師の実践から			・スクラップ事例、再構築事例、失敗や実現できなかった事例 ・民間事業での政策課題への取組
	時代の変化とサービス見直しの実践			・過去に学び時代の変化をみる ・行政サービスの分類と変化 ・具体的行動の実践
まとめと質疑応答			・全体のまとめと質疑応答	
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.163）			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級	受講者の声		
	<b>働き方改革のための 業務効率改善（主幹級）</b>		他自治体の事例や具体例を用いた分かりやすい説明で、具体的に業務に活用するイメージを持ってました。組織として業務改善を進める仕組み、環境の変化や職員個人の考え方に対応していくための手法を学ぶことができました。	
講師	(株) 行政マネジメント研究所 <small>こかん とおる 後閑 徹</small>	期 間	1日間	
		会 場	自治人材開発センター	
		予 定 人 員	県40人・市町村40人	
ねらい	働き方改革の本旨を理解し、「長時間労働」の是正や業務効率化を図ることで、働きやすい職場環境の実現を目指します。そのために、働き方改革に関するマネジメント上の問題を特定し、解決策を考え、持続的に働き方改革を推進できる仕組みづくりを学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 8月31日（水）（県20人・市町村20人） ② 11月7日（月）（県20人・市町村20人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	はじめに  働き方改革の背景・意義  「働き方改革」と地方自治体  マネジメント上の問題解決による働き方改革  まとめ	6	20	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修のねらいと全体像・要点の説明</li> <li>事前課題の共有</li> <li>働き方改革が求められる背景・目的</li> <li>職場における働き方改革の意義</li> <li>自治体の特性から導く、マネジメントの必要性</li> <li>部下を前向きに行動させるために</li> <li>マネジメント上の問題とは</li> <li>マネジメント上の問題解決に向けて</li> <li>仕組み（ツールとルール）～LEVEL5の解決～</li> <li>事例紹介</li> <li>成長度合いの把握・職場での実践を目指す</li> </ul>
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.164～165）</li> <li>・全2回実施</li> <li>・事前課題があります。</li> </ul> ※参考：通信教育講座の業務改善分野に関連する講座があります。			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		受講者の声	
	議会答弁・報道機関対応			元自治体職員ということもあり、実務経験上の話を織り交ぜた説明は非常に興味深く聞くことができました。また、具体的な事例や演習が多いなど、研修内容をより理解しやすくする工夫がされていました。
講師	一般社団法人 日本経営協会 もり たけし 森 健		期 間	2日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県30人・市町村50人
ねらい	管理職職員にあつては、議会・報道機関に対して適切に説明責任を果たしていくことが重要です。本研修では、議会・報道機関と接する際の基本的な姿勢を理解するとともに、答弁書作成や説明のポイントなどを理論的かつ体験的に学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員（受講を希望する課長級職員を含む） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 7月19日（火）・20日（水）（県15人・市町村25人） ② 10月17日（月）・18日（火）（県15人・市町村25人）			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション等
	議会運営の全体構造	6	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>地方公共団体における議会とは</li> <li>議会の組織・権限</li> <li>議会の招集と会議の運営</li> <li>行政の説明責任と議会対応</li> <li>答弁書作成準備としての情報収集</li> <li>答弁書作成の実践ポイント</li> <li>「彩の国市」「彩の国県」を舞台に、それぞれの立場で一般質問に対する答弁書作成演習を実施</li> <li>初日のまとめと質疑応答</li> </ul>
	答弁書作成の実践ポイント			
	答弁書作成演習			
まとめ・質疑応答				
2日 9:00 ～ 16:30	行政の説明責任と報道機関	6	25	<ul style="list-style-type: none"> <li>平時の報道機関との関係</li> <li>有事の関係（危機管理広報）</li> <li>記事にしてもらう</li> <li>記者との信頼関係構築</li> <li>広報部門との連携</li> <li>危機管理広報の基本</li> <li>記者会見の設定</li> <li>各部門共通の対応（事例に学ぶ報道機関対応）</li> <li>ケーススタディ：危機管理について考える</li> <li>自治体で不祥事が発生したという設定で緊急記者会見演習を実施</li> <li>補足講義（報道機関ごとの特性と対応方法）</li> <li>総括講義と質疑応答</li> </ul>
	平時における報道機関対応			
	有事における報道機関対応			
	緊急記者会見演習			
	総括講義・質疑応答			
	講義の振り返り等	0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO. 166～167）</li> <li>全2回実施</li> </ul>			

## 階層別選択研修（共同）

研修名	主幹・副課長・課長補佐級		おすすめポイント	
	チームエンゲージメント ～チームの一体感、推進力を学ぶ～			職場におけるチームの作り方が大きく変化し、職場に全員が集合して執務に当たる機会が減る中で、メンバーが主体的に行動し、メンバーと管理者が常に意思疎通ができるチーム作りの手法を学ぶことを目指します。
講師	(株) インソース  とくのう 得能 みちとし 通利		期 間	1 日間
			会 場	自治人材開発センター
			予 定 人 員	県 40 人・市町村 40 人
ねらい	チーム内での「風通しの良さ」、「一体感」をチーム員が感じられるマネジメントスキルを学ぶとともに、チームリーダーとしての仕事の進め方などを学びます。			
対象者	【県】令和4年4月1日現在、主幹級及び副課長級の職に昇任後1年以上経過している職員 (受講を希望する課長級職員を含む) 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	① 7月26日(火) (県20人・市町村20人) ② 11月8日(火) (県20人・市町村20人)			
手法	通所研修			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	オリエンテーション	0	05	研修全般に関するオリエンテーション
	自身に求められる役割を考える	6	20	・変化に対応できるチームづくりとスクラップ&ビルド、政策形成 ・DXの活用
	エンゲージメントとは			・働く人が幸せな状態とは ・エンゲージメントが注目される背景、構成要素 ・エンゲージメント向上のメリット
	風通し ～信頼関係から生まれる安心感			・半径5m以内の人間関係をいかに充実させるか ・風通しのよい組織を実現する3つのポイント ・管理職に求められるのは、多様化する部下のインクルージョン
	見通し ～前向きなキャリアの想定ができるか			・管理職は、部下の視界を良好にして仕事に集中させること ・1対1面談のすすめ
	一体感 ～個の成長と組織の発展が連動している実感			・一体感のある組織とは ・管理職に求められるのは、板置換を醸成するための部下支援 ・「理」と「情」を用いた仕事の任せ方 ・支援型リーダーのすすめ
まとめ 講義の振り返り等		0	05	質疑応答、アンケート記入等
備 考	・県職員と市町村職員との共同研修（市町村研修コード NO.168～169） ・全2回実施			